

## 「無罪を勝ち取るまで一緒にたたかおう!」支援集会に420名参加

5月20日、安曇野スイス村サンモリッツにて、「無罪を勝ち取る支援集会」が行われ必ず無罪を勝ち取ろうと、県内外からこれまで開催した支援集会で最も多い420人の支援者が集まりました。

木嶋弁護団長からの裁判報告、支援者からの激励の声、あずみの里職員からのお礼と引き続きの支援の訴えがあり、参加者一同たたかう気持ちを新たにしました。



### 無罪を勝ち取るために

木嶋弁護団長は、裁判のこれまでの報告と次の5つを訴えました。

1. 本件は「窒息」との施設職員の思い込みを前提として組み立てられた
2. これまでの裁判を通じ、警察・検察の捜査や起訴のずさんさが、浮き彫りに
3. 警察は、介護施設での死亡事案に対し、捜査・介入の機会をうかがっている。貧弱な我が国の介護予算・政策に対する「介護事故被害者」の怒りを緩和させるねらい
4. 裁判の経過は、検察を追い詰めてきているが、無罪に向けた最後の努力が必要
5. 日本の介護の未来がかかった裁判。さらに大きな裁判支援を



### 「証言台は孤独と不安と緊張が入り混じった複雑な心境」

これまでの公判で証人として証言台に立った、あずみの里 介護職員の森山明さん、長澤健一さんが支援のお礼とともに、証人尋問を受けた心境を発言しました。

#### 森山明さんの発言（抜粋）

いつも多くの支援・応援をありがとうございます。私は2017年7月4日に証人尋問に立ち、ありのままの事実・当時の現状を証言してきました。証人として出廷することが決まりとてつもないプレッシャーを感じました。けれど全国からこの裁判に向けての支援・応援の言葉を感じ、また山口さんの無実を信じ、プレッシャーに押しつぶされないように心を強く持ちました。証人尋問前日の夜は私の証人尋問の結果がこの裁判の判決に影響を与えてしまうのではないかと不安や恐怖から寝ることもできない、何かを考えていないと落ち着かない緊張でいっぱいいな、そんな心境でなかなか寝付くことができませんでした。証人尋問当日、全体で4時間半ほどの時間質問に答え証言を行いました。法廷の中の証言台は孤独と不安と緊張が入り混じった複雑な心境でした。手に握っていたハンカチは汗でとても濡れました。その中でも質問を聞き逃さないように内容をしっかりと聞くことやしっかりと質問の内容を理解した上で答える事を意識して分からないことは何度も何度も聞きながら行いました。自然と座りながらも前掲の姿勢をとっていたため、終えた時は腰が痛くなるほどでした。検察から「あなた〇〇日に集会に参加され発言されましたよね」と私の発言した内容を述べた質問もありました。今日もこの場に検察の関係者がいらっしゃるかもしれませんが、私は山口さんの無罪を信じています。私が証言した事実の中にどこにも山口さんの非となるような要素はないと思っています。山口さんの無罪を勝ち取る為に、介護の未来を守る為に今後も私は声を挙げていきます。今後とも多くのご支援・ご協力をお願いします。



## 「一丸となって、何としても、無罪を勝ち取りましょう」

支援者からは、日本医労連書記長 森田進さん、長野県内の介護事業所より ゆいの街 施設長 山本典子さん・木曾のぞみの里 施設長 新宅義昭さん、全日本民医連 副会長 牛渡君江さん、松本協立病院 田中さとみさん より激励の言葉を頂きました。



全日本民医連 副会長 牛渡君江さんの発言（抜粋）



我が国は、100歳まで生きることが当然とされる時代を迎えています。向かいつつある超高齢者社会は、人類の歴史上、初めての経験であると言われていています。生物としての人間が、90年、100年生きたときの生命活動がどのようなものであるかという経験値を人類は手にしていません。臨床の場では、腕を支えただけ、身体の向きを変えただけで骨折することがよくあります。今まで笑って話をしていた人が横を向いた瞬間、呼吸をしていない…ということもあります。そのようなことが、今日も明日も起こってくる・・・超高齢といわれる人間の生命活動の最期とはそのようなものなのではないかと

思います。それらは、超高齢社会が抱える課題になってくると思いますし、すでに始まっています。

異変や事故が起きたら、有無も言わずに捜査され、刑事訴追されるような、介護の未来が来たら、安心してケアを行うことができず、介護の萎縮が起こってしまいます。何より、人間らしい介護が受けられなくなって、最も不幸なのは、利用者であり、国民です。あずみの里の裁判は、超高齢者社会を迎える上での重要な課題が含まれています。あずみの里は、その最前線に立って苦悩しているように思います。その苦悩は私たち看護や介護の現場にある苦悩そのものです。それらを胸に刻み、闘いに臨んで行く新たな決意が必要と思っています。

山口さんをはじめあずみの里の職員、弁護士、そして勝ち取る会が一丸となって、何としても、無罪を勝ち取りましょう。

理不尽な権力に屈することなく、介護の未来が、介護するものと介護されるもの双方の未来を守る闘いでもあることに確信を持ち、勝利しましょう。全日本民医連もともに闘っていきます。

## 新署名を広げて下さい 8月末までに20万筆を達成しよう

新署名 17万9096筆

※9月以降も新署名は引き続き取り組みます

旧署名 19万6505筆

合計 37万5601筆 (6/16現在の到達)

## 裁判闘争カンパのご協力もお願いします

振込先 長野銀行 本店 普通 8828733 無罪を勝ち取る会

傍聴支援【今後の公判の予定】多くの方のご支援をお願いいたします。

第19回公判 7/2(月) 13:10～ 川嶋みどり氏 看護師 (弁護士側証人)